

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

高等教育活性化シリーズ 347 (通算 678 回)

2017 年 6 月 1 日 (木)

教職課程のこれから——

初等中等教員養成の新展開と質保証

高等教育活性化シリーズ 351 (通算 682 回)

2017 年 6 月 23 日 (金)

非連続の連続に向けて——

高校・大学の教育接続の進化方策

教職課程のこれから——

初等中等教員養成の新展開と質保証

～採用・研修との一体改革の中で／コアカリと教育課程改革～

- ※ “開放性” の多様性と質向上の両立／資質向上「指標」／教職課程の今後／再課程認定
- ※ 教職課程の質保証と向上～中教審答申と実地視察から／コアカリの検討状況と今後
- ※ [玉川大] 教員養成の質保証／4年間の教職課程指導・支援／教師教育リサーチセンターの5年
- ※ [中央大] 教免法改正～大規模大にとってのインパクト／全学組織と学部・研究科との連携

● 講 師 ●

- | | | |
|----|-----|---|
| 牛渡 | 淳氏 | ／ 仙台白百合女子大学 人間学部 教授 前学長
中教審 初等中等教育分科会 教員養成部会 臨時委員 |
| 坂越 | 正樹氏 | ／ (国) 広島大学 大学院教育学研究科 教授
中教審 初等中等教育分科会 教員養成部会 臨時委員 |
| 森山 | 賢一氏 | ／ 玉川大学 大学院教育学研究科・教育学部 教授
中教審 初等中等教育分科会 教員養成部会 臨時委員 |
| 眞鍋 | 倫子氏 | ／ 中央大学 文学部 教授 教員養成運営委員会 教職検討小委員会 委員長
東京学芸大学 教員養成評価開発研究プロジェクト委員会 委員 |

2017 年 6 月 1 日 (木) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

非連続の連続に向けて——

高校・大学の教育接続の進化方策

～大学教職員にとっての新学習指導要領／大学入試への反映～

- ※ 新指導要領の理念～社会に開かれた教育課程／学びに向かう力／到達度の総合評価
- ※ 高大接続最新動向～新共通テストの行方／専門職大学と高等教育の今後／大学の統合・再編は
- ※ 新指導要領への教学対応／多様な教育課程と質保証／大学教育接続への期待
- ※ 高大接続のメディアとしての大学入試／センター試験の作問と運営～27年余の実績

● 講 師 陣 ●

- | | | |
|----|-----|---|
| 藤田 | 晃之氏 | ／ 筑波大学 人間系 教授
中教審 初等中等教育分科会 教育課程部会 高等学校部会 委員 |
| 中根 | 正義氏 | ／ 毎日新聞社 教育事業本部 大学センター長 |
| 長塚 | 篤夫氏 | ／ 順天中学高等学校 校長 日本私立中学高等学校連合会 常任理事 |
| 大塚 | 雄作氏 | ／ (独) 大学入試センター 副所長 試験・研究統括官 |

2017 年 6 月 23 日 (金) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



[参加要領]

日時： ■高等教育活性化シリーズ 347 初等中等教員養成の新展開と質保証

2017年6月1日(木) 10:30~16:50

会場：剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362

(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

日時： ■高等教育活性化シリーズ 352 高校・大学の教育接続の進化方策

2017年6月23日(金) 10:00~16:50

会場：日本教育会館 会議室(東京・神保町)千代田区一ツ橋2-6-2 TEL 03-3230-2833

(東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1出口より徒歩3分 <http://www.jec.or.jp/koutuu/>)

参加費	ご一名(資料代を含む)	メディア参加(資料及び音声CD)
高等教育活性化シリーズ 347 初等中等教員養成の新展開と質保証	41,000円(税込) 高等教育同人 20,000円(税込)	42,000円(税込) 高等教育同人 21,000円(税込)
高等教育活性化シリーズ 351 高校・大学の教育接続の進化方策	40,000円(税込) 高等教育同人 20,000円(税込)	41,000円(税込) 高等教育同人 21,000円(税込)

※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声CDを送付します。

※なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替：00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

☆高等教育計画経営研究所同人はKKJのHPでご確認願います。

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106

TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 347
初等中等教員養成の新展開と質保証
- 高等教育活性化シリーズ 351
高校・大学の教育接続の進化方策

(□に✓印を入れてください)

- 一般 同人
 当日参加 メディア参加
 一般 同人
 当日参加 メディア参加

- 支払方法 当日払い 銀行振込 郵便振替
必要書類 請求書 見積書 領収書

勤務先 _____ (書類宛名 _____)

所在地 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義内容
10:30) 11:40	<p>□ 初等中等教員の教員養成システムと教職課程の今後 ～“開放制”の多様性と質の向上の両立をめざして～ 仙台白百合女子大学 牛渡 淳</p> <p>1. 「教員の資質向上に関する指標」の策定と大学 (1) 「指標」とは何か (2) 「指標」をだれが作るのか (3) 「指標」と大学の役割・責任</p> <p>2. 教育職員免許法の改正と大学 (1) 新学習指導要領と大学の教員養成 (2) 教職課程「科目区分の大括り化」 (3) 現代的教育課題と教職課程</p> <p>3. 「コアカリキュラム」と大学の教職課程 (1) 「コアカリキュラム」とは何か (2) 「教職コアカリキュラム」の内容と再課程認定</p> <p>4. “開放制”教員養成の今後と大学 (質疑応答)</p>
11:50) 13:00	<p>□ 教職課程のカリキュラム再構築と教育の質保証 ～コアカリキュラム策定の意義と機能～ 広島大学 坂越 正樹</p> <p>1. 大学教職課程の質の保証と向上 (1) 中教審答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」(平成27年12月21日) (2) 「教職課程認定大学等実地視察報告書」から</p> <p>2. 教職課程コアカリキュラムの検討状況 (1) コアカリキュラム策定の趣旨 (2) コアカリキュラムの構成 (3) コアカリキュラムの活用 (4) コアを踏まえた教職授業科目の開設</p> <p>3. 教職課程の質保証のための取り組みと今後の方向性 (1) 点検と評価 (2) 空回り PDCA の克服 (質疑応答)</p>
14:00) 15:20	<p>□ [玉川大学] 教員養成の質向上に向けた取り組み ～教師教育リサーチセンターによる全学体制での運営の現状と課題～ 玉川大学 森山 賢一</p> <p>1. 教員養成における単位の実質化への取り組み (1) 本学カリキュラムの特徴 (2) 16単位CAP制度と教職課程科目 (3) 教職課程の質保証 (4) 教員養成の質保証に向けた新たな学科の設置</p> <p>2. 4年間を通じた教職課程指導・支援体制 (1) 4年一貫した教職課程受講支援プログラム (2) 1年次からの教員養成と教職課程受講支援プログラム (3) 各学年における教職課程受講支援プログラムの概要 (4) 1年次の主な教職課程支援講座等</p> <p>3. 教員養成の質保証に向けた教職課程の全学体制による組織の運営 (1) 教師教育リサーチセンターによる全学学生支援 (2) 教師教育リサーチセンターによる研究活動の推進 (質疑応答)</p>
15:30) 16:50	<p>□ [中央大学] 教職課程と教育プログラム再構築の取り組み ～実地視察及び教員養成認証評価を受けて～ 中央大学 眞鍋 倫子</p> <p>1. 教免法の改正と中央大学の現状 (1) 教免法の改正をどう受け止めるか (2) 全学での「運営委員会」と「教職事務室」の役割 (3) 実地視察からの課題 (4) 「教員養成認証評価」について (5) 文学部での認定評価を受けての課題</p> <p>2. 課題とそれに向けた取り組み (1) 全学の教職課程の取り組み (2) 各学部・研究科での取り組み (3) 全学組織と学部・研究科との連携 (4) 今後の展開 (質疑応答)</p>

